

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	SM	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科
学 年	2	派遣国	台湾
派遣大学	国立台湾科技大学		
期 間	2024 年 8 月 27 日～ 2024 年 12 月 28 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	冷房のみ	冷蔵庫	○
滞在費	約 (150,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バス) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法 (歩き) で、約 (25) 分					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30,000 円	自炊のための食材を買ったり学食を食べたりしました。
学用品購入費	- 円	
交通費	2,500 円	バスと地下鉄 (学校まではバス片道約 75 円)
交際費	- 円	食費に含んで計算しています。
その他	15,000 円	洗剤やティッシュなどの日用品や服など
合計	47,500 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

台北の治安は比較的良いと思います。特に、学校の近くは他の大学など数校立ち並び、学生街であり、若者で賑わっているため、治安が良かったです。台北の北の方にいくと、観光客や大人たちが多く、少し注意が必要なエリアとなっています。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	（ 5 ）ヶ月間	保険料	（ 60,580 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	（ ）ヶ月間	保険料	（ ）円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **台北市** ）

台北は、台湾の首都で、歴史と現代が融合した魅力的な都市です。中世記念堂や龍山寺などの歴史的建造物も多い一方で、台北 101 のような近代的な高層ビルも建っています。

また、学校が多いため学生が多く、若者向けのお店が立ち並びとても過ごしやすいです。建物だけでなく、公園も多く設備されており、緑豊かな街並みです。

夜は様々なエリアで夜市が開催され、夜も若者や現地の人、観光客でにぎわっています。

【学業編】

1. 大学情報

大学	国立台湾科技大学	所在地	台北
最寄空港	桃園	空港からの距離	45km
空港⇄大学	(空港⇒[電車 40 分]⇒台北駅⇒北門駅⇒[MRT 10 分]⇒公館駅⇒学校) *移動手段		
学生数	約 10,200 人	留学生数	約 1440 人
学部	[工学部] 機械工学科・材料科学工学科・建築工学科・先進テクノロジー全英語プログラム・グローバル開発工学士プログラム [電機情報学院] 電子工学科・電機工学科・情報工学科 [管理学院] 工業管理学科・企業管理学科・情報管理学科 [デザイン学部] デザイン学科・建築学科 [人文社会学院] 応用外国語学科 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	人文社会学院/応用外国語学科 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後		- Introduction to Education	- News English	- English for Presentation - Basic Oral Chinese	- General Psychology

② ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

3. 履修内容

科目	Introduction to Education		
履修期間	9 月～12 月	単位数	2 credits
授業内容／形態	教育学入門は、私が留学している NTUST（国立台湾科技大学）と単位互換の提携をしている NTNU（国立台湾師範大学）で受けられる授業。この授業では、教育課程についての一般的な見解を提供し、関連する他の科目を学ぶ能力を高めることを目的としている。 形態：主に、教授がスライドを使って進める一斉授業とグループディスカッション、プレゼンテーション		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 H）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	News English		
履修期間	9 月～12 月	単位数	2 credits
授業内容／形態	この授業では、本物の教材に触れ、様々な分野のニュースを読むことの理解を明確にし、読解における批判的思考、ライティングや口頭での報道における表現力をサポートし、場合によっては自分のニュースライティングを開発、修正、評価してクラス内で話す力を培う。 形態：一斉授業&グループディスカッション		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 F）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	English for Presentations		
履修期間	9 月～12 月	単位数	3 credits
授業内容／形態	この授業では、学生が将来職業上必要とされる英語でのプレゼンテーションを完了できるように準備することを目的としている。口頭でのプレゼンテーションやビジネスコミュニケーションの準備、作成、実施に重点を置く。 形態：レクチャー＋グループワーク＋プレゼンテーション		
成績	B		

YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 G）
	単位数	3
	担当教員	

科目	Basic Oral Chinese		
履修期間	9 月～12 月	単位数	2 credits
授業内容／形態	この授業では、基礎からマンダリンを学ぶ学生のために、話す力を重点的に身に付けることをサポートすることを目的としている。基本的な日常会話を学び、口頭試験でのアウトプットでスキルを身に付ける。 形態：レクチャー		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	General Psychology		
履修期間	9 月～12 月	単位数	3 credits
授業内容／形態	この授業は、NTNU と同じく NTUST と単位互換提携をしている NTU（国立台湾大学）で開講されている。このコースでは、心理学の科学的分野における多様なトピックや重要な問題を紹介することを目的としている。授業を通して、心理学の本質的な側面に関連する影響力のある理論や重要な研究について基本的な理解を深める。 形態：レクチャー＋ディスカッション		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 E）	
	単位数	3	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

半年の留学を通して、様々なことを学び自己成長につながったと実感しています。生活面、学習面のそれぞれにおいて成長した点がありました。

まず、生活面について一番大きく成長できたと感じたのは、一人暮らしをした経験です。それまでは実家暮らしだったため、これまで親に支えられていた部分が多くあったと気づくことができました。また、学校以外では、基本的に一人で行動することが多かったため、移動手段や買い物など自分ひとりで決めて解決しなければならない状況で、自ずと問題解決能力も身についたと感じます。例えば、中国語が話せない状況で、店員さんに中国語で話しかけられた時に、以前まではオロオロするだけだったのですが、翻訳機やジェスチャーで乗り切ったことで、「自分でもやればできるじゃん!」と自信につながり、問題が起きても積極的に対処しようとする姿勢が養われたと思います。

また、学習面においては、常に英語ベースの授業を受けていたことで、言語力の向上につながったと感じています。高校は海外の学校だったため、英語の環境で授業を受けるのは高校卒業して以来で、懐かしい感覚もありましたが、やはり英語のみの環境で学習するのは大変難しく、かなり努力が必要でした。毎授業後の復習は欠かさず行い、次回の授業でやりそうな範囲を予習するなど、なるべく毎日コツコツ頑張るように心がけました。留学を始めた当初は、環境に慣れていないこともあり、自分が適切に勉強できているかが不安でしたが、ミッドターム後の成績が思ったより良かったため、自信につながりましたし、その後の勉強への意欲も上がりました。ファイナルが近くなると、徐々に気が緩んでしまった時期がありましたが、毎週決まった時間に必ず勉強する時間を設け、怠けないよう努力しました。

留学に行く前に掲げた目標として、「自分の殻を破る」ことを設定していましたが、実際留学に行ってみて、自分のチャレンジ精神が向上したと感じます。知らない土地に身を置いて、かつ一人暮らしで、自分のことは自分で対処しなければならないという状況だったため、自然と主体的に行動できるようになっていきました。また、4か月という期限が決まっていたので、その期間内に悔いのないよう行動しなければならないという思いも、チャレンジ精神の向上につながったと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後は、留学で得た自分の長所を伸ばせるように、意識して生活していきたいです。これまで野外活動に対して消極的でしたが、台湾で現地の人々と積極的にかかわった経験とその時の自分のマインドを思い出しながら、これからは積極的にボランティアなどの奉仕活動をしてしながら周囲の人々と関わっていききたいです。新たな人間関係を築くことを恐れずに様々な背景を持つ人々と交流して、これからも視野を広げながら活動していきたいと思います。

そして、留学前は、この留学をきっかけに将来自分の卒業研究のテーマになるような興味深いトピックを見つけることも出来たらと思っていました。実際に台湾で4か月生活してみて、学校で「心理学総論(General Psychology)」の授業を受けてみて、元々興味があった心理学にも改めて興味を持ち直しました。それと同時に、台湾人の温かい人間性に触れてみて、日本人としてのマインドや、日本人からみた台湾人の像について興味を持ったため、今後そのような分野について研究することができたらと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

これから留学することを検討している学生の方に対して、何事も積極的に挑戦してみることをお勧めしたいです。私は元々消極的な性格で、留学に行きたいと思ってはいても、実際「よし、行こう!」と決心することは難しかったです。しかし、少しでも海外に興味を持っていて、且つ私のように前向きな人間になりたい等の目標が一つでもあれば、挑戦することが大事だと感じます。問題が起こっても、常にサポートしてくれる学校の先生方や周りの友達がいるという安心感があるため、ストレスなく留学に専念することができました。

また、実際に留学することを決心された方に対しては、とりあえず留学中にこれだけは達成しようという明確な目標の一つでもいいので掲げ、自分の軸がブレないように、目標に向かって日々頑張ることが大事だとお伝えしたいです。実際私が留学に慣れてきたころ、自分がなんで留学に来たのかを忘れ始め、学業面でも生活面でも怠けそうになってしまいましたが、「積極的に行動して自分の殻を破る」という目標を思い返したことで、最後まで主体的に行動することが出来ていたと思います。

不安なことなどたくさんあるかと思いますが、まずは、留学を通して得られる貴重な経験を存分に楽しむことが大事です! 素敵な留學生活が送れることを、応援しております!